

1940
▼
1992

HISTORY

西武バスヒストリー



1940

セミキャブオーバー
武蔵野鉄道購入のセミキャブオーバー



1955

ボンネットバス
本川越駅前を発車するボンネットバス



1968

日野 RE100
池袋駅東口で発車を待つワンマンバス



1981

三菱ふそう MR410
入居がはじまったつつじ野団地に到着したバス



1987

日産ディーゼル P-UA32L
ベッドタウン 狭山台団地を行く4枚折戸のバス



1992

日産ディーゼル U-UA440
廃止間際の清瀬営業所に入庫したバス

人と街を つむぐ バス。

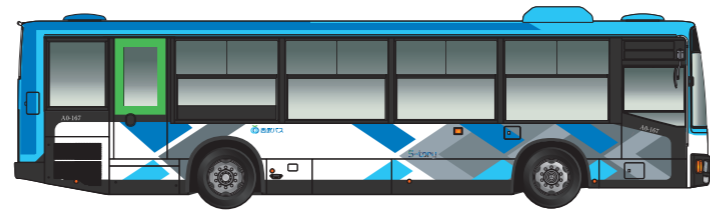
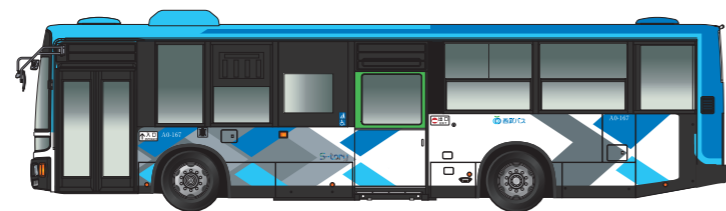
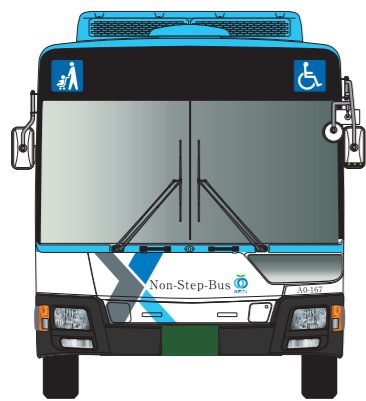
S-tory



2020 Spring

debut!





〈西武バス ロゴマーク〉

メインカラー
Seibu Blue

サブカラー
Seibu Light Blue Seibu Green

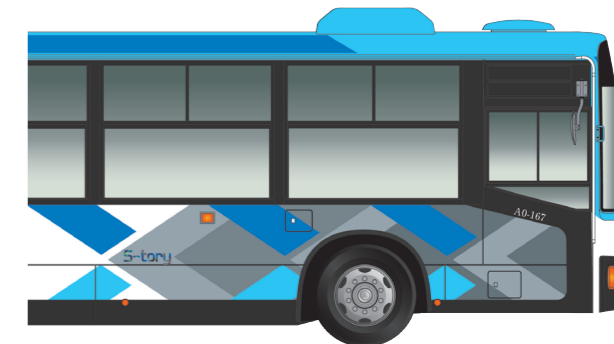
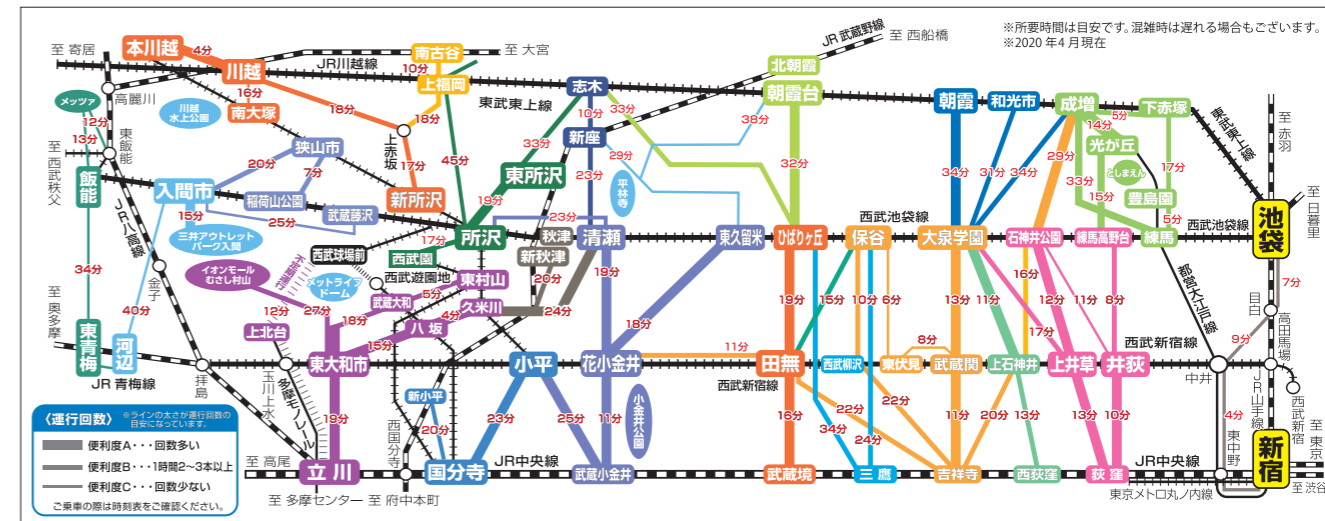
変わることのない「信頼感」や「安心感」をイメージ

人の暮らしや環境と共生していきたいという思い

〈コーポレートブランドカラー〉

西武グループのコーポレートブランドカラーである「Seibu Blue」、「Seibu Light Blue」「Seibu Green」を基調に、ディープブラックやホワイトなど計8色を配色。デザインコンセプトに基づいたクロスデザインをベースとし、お客さまから一目で「西武バス」だご認識いただけるよう特徴的なデザインとしました。

EXTERIOR 車両外観



「地域と温かく共存し、お客さまを包み込むような衣(クロス)となりたい」

当社は西武池袋線・西武新宿線をはじめとして東武鉄道、JRなどの鉄道(横の糸)を縦のバス路線(縦の糸)で結んでいるのが大きな特長で、お出かけになるお客さまの1日の始まりと終わりを支える大切な役割を担っています。

新しいカラーリングデザインは、鉄道(横の糸)とバス路線(縦の糸)が重なり、交わり、編み上げられていく交通網(物語)をクロスデザイン【cross(交差) cloth(布・衣)】として表現し、これまでにない斬新なデザインにチャレンジしています。

DESIGN CONCEPT デザインコンセプト

S-tory

safety (安全)、smile (笑顔)、service (奉仕)、synergy (相乗効果)といったお客さまへの想いを込め、西武グループを連想できるような「S-」としました。また、「ory」には鉄道とバスの路線を「織る」という隠し要素を加えています。人々の生活や仕事が織りなす日々の物語(ストーリー)を、西武バスが新デザインのバスによって紡ぎだしたいという想いを込めました。

NICKNAME 愛称「S-tory(エスストーリー)」に込めた想い



〈運転席から見たバス車内〉



〈シート柄(優先席)〉

カラーリングデザインの変更に合わせ、シートデザインを変更することといたしました。グループカラーを基調としたクロスデザインとし、内外装含めて新しい西武バスを感じていただけるよう工夫しました。

INTERIOR インテリア